

令和5年度 指定管理施設評価票

1 基本情報

(令和6年3月31日時点)

施設名	港区立港南子ども中高生プラザ						
指定管理者	本所賀川記念館・太平ビルサービス共同事業体						
指定期間	令和 5 年 4 月 1 日 ~ 令和 10 年 3 月 31 日						
募集方法	公募	グループ化の有無	－	利用料金制の採用	－	使用許可権限の付与	－
施設所管課	芝浦港南地区総合支所管理課						

2 職員体制

(単位：人)

	正規	常勤	非常勤	非正規	常勤	非常勤	委託（シルバー人材センター等）	合計
職員数	40	40	0	18	0	18	2	60
		令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	備 考	
正規・非正規職員の退職者数		6	3	2	2	6		

3 指定期間における事業実績

事業実績	令和5年度					備 考
施設利用者数（人）	102,935					
開館日数（日）	347					
グループ活動等参加人数（人）	13,465					

4 指定期間における経費実績

(単位：円)

項 目		令和5年度					備 考
経費実績	収入	325,990,296					
	指定管理料（清算後）	325,990,296					
	利用料金収入	0					
	その他収入	0					
	支出	326,674,546					
	職員人件費	217,198,045					
	光熱水費	15,763,927					
	修繕費	9,581,000					
	事業運営費	14,591,401					
	施設管理経費	45,803,173					
	その他経費	23,737,000					
	差引収支額	-684,250					
年度協定書で定める指定管理料		333,239,489					

5 管理運営状況に対する評価

項 目		評価視点	指定管理者による評価	区による評価		
				評価	加算	点数
【施設の維持管理】	① 設備機器の保守管理	仕様書等に従い、適切に設備機器の保守管理が行われ、利用者の安全・安心が確保されていたか。	5 / 5	5 / 5	×1	5 / 5
	② 清掃及び衛生管理	仕様書等に従い、適切に清掃及び衛生設備の保守管理が行われ、施設が清潔に保たれていたか。	5 / 5	5 / 5	×1	5 / 5
	③ 修繕対応	迅速に修繕がなされ、利用者の安全・安心が確保されていたか。	5 / 5	5 / 5	×1	5 / 5
【事業運営】	④ サービスの向上	事業計画書で定めた事業を適切に実施するとともに、公募時の提案や利用者の声等を事業に反映するなどサービス向上を図っていたか。	5 / 5	5 / 5	×5	25 / 25
	⑤ 職員配置	事業計画書等で定めたとおり、必要な知識や技能を持った職員が適正に配置されていたか。	3 / 5	3 / 5	×2	6 / 10
	⑥ 人材育成	施設長や職員に対する研修などにより、サービスの向上に向けたスキルアップに取り組んでいたか。	5 / 5	5 / 5	×1	5 / 5
	⑦ 労働環境	区が定める最低賃金水準額を遵守するとともに、ハラスメントが通報されないなど、職員にとって良好な労働環境が確保されていたか。	5 / 5	5 / 5	×2	10 / 10
	⑧ 安全管理・危機管理	施設の日常安全点検を実施するとともに、災害や事件・事故発生時の体制や対応の確立などにより、利用者の安全・安心が確保されていたか。	3 / 5	3 / 5	×3	9 / 15
	⑨ 個人情報保護・情報セキュリティ	個人情報や情報セキュリティの社内規程を整備し、区の規程とともに遵守して、適正に運用していたか。	5 / 5	3 / 5	×1	3 / 5
	⑩ 区施策への協力	高齢者や障害者の雇用促進、区内事業者の活用、施設の省エネ促進等、区の施策を理解し積極的に協力していたか。	5 / 5	5 / 5	×3	15 / 15
区による評価合計点						88 / 100

【各項目の評価について】

5点：当該項目に係る事項については、充実した取組が展開されていた。

3点：当該項目に係る事項については、概ね適切に取り組んでいた。

1点：当該項目に係る事項については、更なる取組の推進が必要であった。

※複合施設の入居施設等で、当該施設の指定管理者が設備機器の保守管理等を直接実施していない場合、該当項目は「－：評価対象外」とします。

指定管理者による自己評価	新型コロナウイルスが5類に引き下げられたことにより、プラリバまつりをはじめとした事業で人数制限を廃止したり、飲食を解禁させ、利用児童の親子と地域住民の交流を再活性化させることに尽力しました。また、港区民優先の雇用の一環として、港区シルバー人材センターから会員2名を派遣してもらい、平日の夕方に児童の見守り対応にあたっていただくことで、安全対策強化だけでなく地域とのつながりの強化を図りました。一方で学童クラブのおやつ提供において、年度内に複数回の食物アレルギー児への誤食事故を発生させてしまいました。このことを反省し全館で誤食事故の再発防止対策を最優先に取り組んで来しました。
区（施設所管課）による評価	3年以上続いた新型コロナウイルスが終息を迎えたことにより、子供たちにとってもののび活動できた年となりました。特に行動制限のない行事を再開したことにより、地域の人々と触れ合うことができ、子供たちに豊かな心と意欲を育むことができました。一方で年度内に複数回の誤食事故を発生させてしまったため、改めて再発防止策を徹底し同様の事案が発生しないように努め、安全な保育環境を確保するためにも区として指導してまいります。また、多くの方に利用していただいている施設として、個人情報の適切な運用についても引き続き指導してまいります。

6 評価

令和5年度の管理運営に関する総合評価

A

【総合評価について（項番5における区による評価合計点の得点率）】

S：施設の管理運営は特に優れていた（90%以上）

A：施設の管理運営は優れていた（80%以上90%未満）

B：施設の管理運営は適切に行われていた（60%以上80%未満）

C：施設の管理運営に改善が必要であった（60%未満）